

# 仕事や育児への姿勢、変わった!?

## パパたちの育休のリアル

育児・介護休業法改正で改めて注目を集めている男性の育児休業取得。今回はアンケート調査や育休を取得したパパたちのエピソードなどから、男性育休の実態を考えます。



### 男性が育休を取ること自体は「賛成」

しかし、「男性育休」に対してリアルな意見も…

積極的に活用してもらいたいけれど、不足分の人員を補うための制度や環境が整備されていないイメージが強い (30代男性)



夫婦で協力して子どもを育てていくことの大切さを、さまざまな角度から学ばないと男性育休の理解が得られにくい (60代男性)



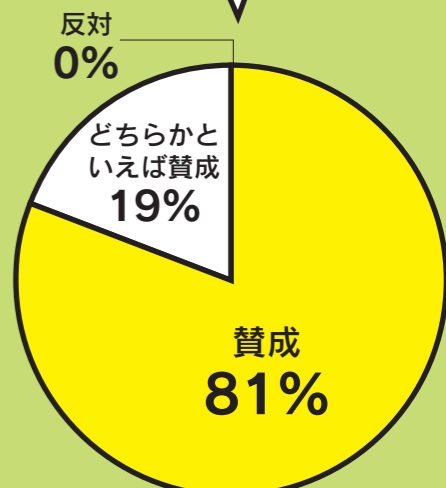
男性が育休の意味や意義、休業中に何をすべきか理解してから取らないと意味がない (40代女性)



復帰後の職場の環境次第で、育休の取りやすさが変わってくる (50代女性)



### 男性の育児休業取得について



回答期間: 令和4年12月9日(金)~20日(火)  
 回答数: 59件 (10~60代 男性47%、女性53%)  
 ※熊本市男女共同参画センターはあもにいが同市在住、勤務、在籍する人を実施

### 産後うつへの予防のほか業務効率化などの機会にも

近年、共働き世代の増加など家族の在り方が変化の中で、家事や育児を男女が共に担うことが求められています。しかし、熊本県の育児休業取得率を見ると、女性は96.3%と全国(81.6%)より高いものの、男性は7.0%と全国(12.65%)を下回っています(令和3年度版熊本県男女共同参画年次報告書より)。

なぜ育休を取得する男性は増えにくいのでしょうか。上記のアンケートからは「人員不足」「前例がない」という企業の課題のほか、「育児は女性がするもの」という意識が、子育て当事者と会社両方にある」といった「無意識の思い込みが、男性の育休取得の妨げになっている」という声があがりました。

そのような中、夫婦が協力して育児休業を取得できるようにするため、令和3年6月に育児・介護休業法が改正されました。翌年10月からは「産後パパ育休」や育児休業の分割取得の制度がスタートし、柔軟に休業を取得しやすい仕組みになってきています(詳細は4ページ)。

子どもを女性だけでなく男性や社会で育てていく雰囲気づくりが求められています。今回の特集を通して、パパの育休取得をより知るきっかけにしませんか。



## パパたちの育休ストーリー

育休を経験した熊本市在住のパパたちにインタビュー。子育てや家事に奮闘したエピソードをうかがいました。

### 社内初の男性育休

第1子を授かった時、周りから「子どもが小さいうちにたくさん抱っこした方がいい」「産後はママの体を休めることが大切」と聞き、半月の育休を取ることを決めました。会社で育休取得推奨の取り組みが始まった時期と重なったのも後押しになりました。

ただ、当時は社内で育休取得



の前例がなかったため、取引先との打ち合わせ内容を念入りに引き継ぎするなど、業務が停滞しないための工夫を自分なりに考えました。

### 家事育児の大変さを痛感

第1子と第2子の産後は妻の実家で一緒に過ごし、義母から身の回りのことや育児のサポートを受けられていました。

第3子の時は長男のことも園の送迎があったため、産後から自宅での5人暮らし。育休前もできる限りの家事はやっていましたが、育休中は掃除や炊事、洗濯など、一通りの家事と長男や次男の世話も私が担いました。8月は長男のことも園で給食がないので、不慣れながら毎日弁当も作りました。長男を送った後は、次男と遊びながら家

### 前向きな育休取得を

育休中は家事と育児に追われて、育児の面白みを感じる余裕もありませんでした。しかし、後から写真で子どもの成長を振り返ると、大変だった記憶も思い出しやすくなり、育休を取得して良かったと感じています。

私の取得をきっかけに、育休を取る男性社員も増えました。仕事への影響を心配して育休

### 充範さんの育休中(第3子)のある一日

- 7:00 起床、朝食準備  
子どもを起こし、ご飯を食べさせる
- 8:30 子どもと自分の身支度  
歩いて長男を保育所へ送迎  
(散歩がてら次男も連れていく)
- 9:30 帰宅後、掃除、洗濯  
次男と公園へ
- 12:00 昼食準備(次男と妻、自分の食事)  
昼食後、次男の寝かしつけ(一緒に休憩したり、掃除したり)
- 15:30 長男のお迎え  
帰宅後、夕食準備、子どもたちのお風呂入れ
- 19:00 夕食、片付け  
子どもたちと遊ぶ、洗濯物をたたむ
- 21:00 寝かしつけ(一緒に寝落ちすることがほとんど)

### 妻・ちよさんより

夏は庭で上の子たちと水遊びをしたり、次男の誕生日にはハンバーグを作ったりしてくれるなど、本当に助かりました。私も育児を楽しむ余裕が生まれ、何より子どもたちが寂しい思いをせずに過ごせたことが良かったです。

取得を諦める前に、職場に相談し業務の状況に合わせて工夫するなど、取得に前向きになってほしいと思います。

## 寝落ちの日々だった3人目の育休 大変な時間もいい思い出



九州電設株式会社 皆本 充範さん(38)  
 電気工事を担当。2018年に約半月、20年に約1カ月半、22年に3カ月間育休を取得。家族構成は専業主婦の妻(38)、長男(5)、次男(2)、三男(0)

子ども3人 取得3回



### 会社よりメッセージ

当社では1カ月以上の育休取得の推進と業務のサポート体制の整備を進め、これまでに9人の男性社員が育休を取得しています。育休中に貸付制度を利用でき、生活費の補填も可能です。また、会社での出来事や業務連絡などを育休中に閲覧できる仕組みがあり、スムーズな育休復帰をサポートしています。

九州電設株式会社 代表取締役社長 川内 省三さん